

認知症がある方の ありとあらゆる『行動』に 微塵もイラッとしなくなる方法 No.003

【怒りっぽい 暴力行為 乱暴 介護抵抗】

「わしゃ便所なんていかん！」「風呂は昨日入った！」「はなせこの野郎！」「あっちいけ！」
認知症がある方が怒ってますね。だれに対して？ もちろん、ぼくらにですね。

①認知

怖そうな人がいる。こっちに近づいてきた。「×△○」なんだかよくわからないことを言ってる。
「△○×！」大声でまたなにか言ってる。すごく怖い顔。手をつかんできた。

②思考

怖い。助けて。なにをするの！？

③行動

「はなせ！なにすんだこの野郎！」

認知症＝怒るとかイコール扱いされがちですけど、これは半分誤解で半分本当ですね。

認知症の方は①認知がむずかしくなってるので、あなたからの声かけやまわりの状況がうまく理解できません。

「お風呂だよ」と言われても「？」。お風呂場に行っても、状況が呑み込めない。

そんなときに怖そうな人に服を脱がされれば「いやー！やめてー！」となりますよね。オイハギ以外のなにものでないですね。

そこでの大暴れは、起こるべくして起きているとご承知ください。

だからといって、誰もが怒るわけじゃないです。あきらめて黙って脱がされる方もいれば、泣いて許しをこう方もいます。

なにが違うのか。ずばり、②思考がちがうんです。

認知症の方は人です。当たり前すぎますが、ぼくらと一緒にです。どう生き、どう考えるのかが、みーんなちがいます。

怒りっぽい人もいれば泣き上戸の人もいます。その生き様が②思考で大いに反映されます。

だから、認知症＝怒るは誤解です。若い頃からもともと怒りっぽい人は、認知症になってもやっぱり怒りっぽいですけどね。

しかしながら「そりゃ怒るよ」って状況はぼくらがつくりがちだなとは思います。しかも、結構高い確率で。

怖い顔をした背の高い人が大きな声を出してよくわからないことを言いながら手を掴んでくれば、そりゃ怖いです。怒りたくもなりますよ。

認知症の方は、圧倒的に①認知が苦手です。いまできる限りの力ががんばって①認知しようとしても、わからないことばかりです。

不安・混乱・戸惑い・苦痛・焦り・恐怖…そんな状況におかれた人が自分の殻に閉じこもったり、大声を出したり、歯ぎしりをしたり、人に敵意を向けたり、自分で自分を傷つけたり、なにが起きても不思議じゃないと思います。

③行動で誰かに怒りを向ける気持ちも「わかる」

薬ってあるじゃないですか。心が落ち着くと称してグッタリさせるタイプのやつ。

あれは③行動を鎮めようとしてるんですね。あ、これ極めて悪い意味で書きますから。一部のお医者さんにはスイマセン。

そういう薬は③行動しか見てないわけですよ。

ただ目の前で起きてるぼくらにとっての迷惑行動を消そうとして、薬が出されるんです。身体拘束と同じです。

もちろん「スタッフのために」「ご家族のために」「その方のために」

残されたわずかな①認知②思考する力も、あっという間に奪われます。本当に、どうかと思う。

……書いていて、とても悲しくなりました。

これに気づいているうちは、まだ救いがあると思うんです。

恐ろしいのは、認知症の方の③行動だけみて「迷惑」「怖い」「よくわからない」と、ぼくら自身の思考がそこでストップすること。

大切なのは、③の源になってる①認知②思考をすこしでも理解すること。人はあくまで①認知→②思考→③行動ですから。

どうか、残された明かりを消さないでほしい。

ぼくらの都合で、勝手に、その方の人生を変えたくない。イヤだ。

まだ振りまわされてイライラしてたほうが、ずいぶんマシなケアだと思います。

しがらみはあるでしょう。

何かや誰かのために、やらざるを得ないこともあるでしょう。

あなたの人生です。

せったくこのお仕事を選ばれたのなら、したいケアをしてほしい。

したくないケアはやめてほしい。

それだけで、ずいぶん救われる方がいらっしやるんじゃないでしょうか→No.004に続く